

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンクスラボ・アフタースクール熊本		公表日		令和8年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 少々狭い中でも子どもが活動しやすいように環境設定を行っている。 現在空間レイアウトについてスタッフで話し合いを行っている最中。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用定員内であっても児童数が多いと手狭に感じることもある。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 事業所で立てたシフト（人員配置）に関してサポート部署やエリアリーダーにWチェックを事前に行ってもらっている。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 現在構造化について進行中。 契約時等に話を行っている。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 少々狭い中でも子どもが活動しやすいように環境設定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 可能であればもう少し広いと良いと思う。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 休憩スペース、相談スペースで休んだりしている。 使用する際に職員間でも確認する等連携を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間の環境設定を行ってはいるが、感染症が流行する際や、音を遮断したい際等に個室があると尚良し。 	
*	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 事業部にて、目標設定、振り返りの機会を設定している。 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> イベントごとのアンケートも実施し、改善に繋げている。 		

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼等で毎日の確認、その他MTGにて意見を出し反映している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価はしていないが、社内の管理グループによる社内運営指導を受け、業務改善に取り組んでいる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間研修計画のもと、研修担当者による社内研修や外部研修への参加も推奨している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPへ公表している	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者様からお伺いした情報やスタッフ見解による日々のアセスメントを基に、一人ひとりに応じた計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		各スタッフが日頃から意見を出し合い、チーム内で協力し、立案しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・病院等での検査結果を保護者に共有してもらい活用している。 ・児童によって視覚での支援アイテム等使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各項目を踏まえ計画を作成し、保護者、職員にも分かり易いように具体的に支援内容を設定しており、利用者のニーズも考慮しながら支援を実施しております。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・月の計画→その日の活動、すべての職員が交代で担えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・外出先、クッキング、平日の活動も重ならないようMTGで検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用児童一人ひとりの特性や目標に応じて活動を計画しております。	・手段は毎日取り入れるが、こどもの状況に応じて参加度合いも違う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日の朝礼等を活用している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日の終礼、MTG等を活用している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別支援計画における個々の目標や支援内容を基に、日々の様子を記録しております。記録を基にスタッフ間で振り返りつつ、より適切な支援に結びつけることができるよう取り組んでおります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		スタッフ間で定期的に支援会議を行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		4つの基本活動の組み合わせは日々の支援の中で自然と取り入れて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個性や特性に応じた選択肢の提供を行ったり、必要に応じてゼロから考えてもらうを基に支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援記録も持参したり、職員の意見も確認し参加している。 ・児発管だけでなく、児童指導員も参加している。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・主に小学校との連携がメイン。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年に3回以上、文書等を配布し、会議開催の依頼も行っている。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて支援の経過等、文書にて確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童に関して事業所側から率先して就学前の関係機関に毎回は連絡出来ていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		<ul style="list-style-type: none"> ・（現在該当なし）
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等には積極的に職員が参加している 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベントにて、他児の兄弟児等と交流する機会はある ・同じエリア内の他事業所と交流している 	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・こども部会に参加している 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・対面でお会いできる場所は迅速を通じて話し、難しい所に関しては連絡帳や電話、LINE等で情報の共有や交換等を行っています。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベントでは、レクリエーションを通して、その療育活動の目的を伝えている。新聞でも目的を記載している。 	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画作成後、保護者への説明は欠かさず行っており、都度同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的に、家族支援を伝える文書等も配布している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会、親子イベント（兄弟児も参加可）を実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・聞き取り、情報共有を速やかに行い、必要であれば学校とも連携している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・2か月に1度新聞の発行。 ・LINEでの個人の写真の共有。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報取り扱い同意書等を使用。 ・定期的に写真掲載承諾書を使用している。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		忘れやすい、情報が埋もれてしまう等の特性がある方に関しては細分化してつたえたり、連絡回数を増やす等の配慮を行っている。		

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・親子イベントへ相談員さんを招待している	・行事を地域住民に招待していない。 ・（外での活動等を地域から見られることはある。）
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、スタッフ間で非常災害の発生に備えて日常会話するなどしながら、定期的に訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・毎年4月に再確認。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・（現在該当なしではあるが、指示書や情報収集時に確認している。）	・（該当なし）
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所の設備点検を実施し、事故等が起こった際のマニュアルの確認、それに伴う対応方法の確認をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		家族等により分かり易く取り組み内容等周知出来るように試行錯誤しながら継続して取り組んでいきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全スタッフにヒヤリハットの周知を行い、事故等につながらないよう定期的なミーティングを行ってまいります。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年間計画に入っており、必ず研修が行われている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		マニュアルを作成し、必要な対応に取り組んでいます。また現在、身体拘束の必要がある利用児童がいらっしゃいませんが、必要に応じて対応をしていきます。		